

2021年11月21日

「希望は失望に終わらない」 ローマ5：5

救世軍 Youtube チャンネルをご覧の皆さん。いつもご覧いただきありがとうございます。はじめまして。わたしは青少年部で責任を持っています朝澤義人と言います。今日は皆さんと一緒に御言葉を分かち合えることができ、心から感謝いたします。

みなさん、2021年もあと1か月とちょっとになりました。皆さんはどう過ごされていますでしょうか。多くの方は、期待より不安、喜びよりも悲しみ、また恐れを抱いている方が多いのではないのでしょうか。コロナだけではなくて、先が見えないことに不安を抱く私たちです。「本当にこのままコロナが終わるのだろうか」「この先どういう風に私たちは生活していくのか」そのように私たちは思い悩んでしまいます。

しかし聖書は言っています。「恐れるな、わたしがあなたと共にいる」「たじろぐな、わたしがあなたの神だから」と言ってくださっています。恐れ、心配、不安を抱いてしまう私たちに、この聖書の神様は「大丈夫だよ」「私と一緒にいるよ」と言ってくださっています。そして聖書はこのような約束をしてくださっています。ローマ5:5「希望はわたしたちを欺くことはありません。」別の訳ではこのように言っています。「希望は失望には終わりません」希望は失望には終わらないと言っています。

この失望だらけの世の中にあっても、聖書は「失望」で終わらないよと、力強く私たちに宣言してくださっています。では、何故そこまで約束してくださるのか、今日はそのことを短くお分かちしたいと思います。聖書は最初にこのように言っています。「初めに神は、天地を創造された」と言っています。地に何も無いところに光をつくり、そして動物、植物、天と地、自然界をすべてつくられたということが書かれています。そして最後に、私やあなた、人を創造されたことが書かれています。そして人を創造されるときに神様は、丁寧に丁寧に、大切に大切に造られたことが書かれています。しかし、つくられた私たちは、神様から「これだけはやってはいけない」と言われたことをやってしまいます。それが罪というんですね。罪とは、神様から離れてしまうことを、したり、言ったり、考えたりすることです。ローマ3:10「正しい人はいない。一人もいない。」と言っているんです。

このことから、わたしもよくあるんです。心の中で「あの人がやだな」「どっか行けばいいのにな」と思っているけど、その人の目の前に行くと「こんにちは、ハレルヤ」と、明るくしてしまう。いとも簡単に偽ることができてしまうんです。ましてや神様の愛を伝えているこの者ですら、何度も何度も過ちをおかしてしまいます。この聖書の初めの書、創世記は、この人の罪を赤裸々に記しています。一度や二度ではありません。何度も何度も繰り返す、人の罪深さが記されています。そして創世記6章では神様はこのように言っています。創世記6章6節「地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた」と記しているんです。もう一度言います。「地上に人を造ったことを後悔し…」最初に私が言った「希望は失望に終わらない」「私たちは大切に造られた」といっている言葉と、何か矛盾していると思わないで

しょうか。でもよく考えると、それもそうかもしれません。だって、1回や2回じゃない、何度も何度も同じ過ちをおかしている私たちです。1回やって「ああ神様ごめんなさい。許してください。」じゃないんです。何度も何度もなんです。だから、神様が言った「後悔」を見るならば、後悔されても仕方がないのかもしれない。私だったらそう思ってしまいます。でもです。もし神様が人を創造されたということを後悔するのであるならば、聖書はこれだけの薄さ終わってしまう書物です。聖書は、これだけ分厚いんです。この分厚さの中に、なにか神様の思いが、神様の意図が記されているのです。この「後悔する」という言葉、原語ではこのように記しています。「思い直された」神は人を造ったことを「思い直された」というのです。神様はわたしたちが、どのようにしたらもう一度わたしのところに帰ってくることができるのか、もう一度私に人が近付いてこられるのか。皆さん、神様は、私たちを諦めないんです。知人や友人、家族、もしかしたら自分さえも諦めていても、神様はあなたを決して諦めません。諦めない神様は私たちのために、ご自身の御子イエス・キリストをこの地上におくってくださいました。ヨハネ3:16「神は実にその独り子をお与えになったほどに、世（わたしやあなた）を愛された。それは御子を信じる者は、一人も滅びないで、永遠のいのちを得るためである。」と聖書は言っているのです。

私たちが何度も何度もおかしてしまうその罪に、ネガティブな思いに、不安に、恐れに、心配に、このイエス・キリストは私たちのもとにやってきてくださって、赦し、救ってくださるのです。あの十字架の血は、私たちの何度も繰り返す罪のために流されたものです。

そして、もう一度立ちあがるために、イエス様は3日目に復活されて蘇ってくださいました。来週からアドベントを迎えます。全世界のキリスト教会が、イエス様の誕生をお祝いするために待ち望む期間を過ごします。いろいろな思いが、私たちにはまだまだたくさんあります。頭の中では、そのことでいっぱいになっています。もう背負いきれません。しかし、このイエス様はその私たちに、この何度も過ちを繰り返す私たちのところに来ようとしてくださっています。ここに希望があるのです。失望には終わらないのです。希望がここにあるのです。